

えんぼとたんぼの始発駅 里山ビオトープ二俣瀬	会 報 第 21 号	2003年4月23日 里山ビオトープ二俣瀬をつくる会 編集責任者：西原 一誠
---------------------------	------------	--

1. 活動報告（事務局 記）

- 4月5日（土）ビオトープの総会があり、ビデオ委員会で作ったCDの配布方法や、これからの事について、いろいろ話し合いました。
- 4月6日（日）今年度から第1日曜日と第3土曜日が作業の日となり、今日が今年度最初の作業です。里山自然観察隊のために、竹を切り巣箱を作りました。水車への水路が落ち葉で詰まっていたので清掃し、水を流すと勢い良く回りました。クヌギの木を2本、近くの山からカブトムシの家の周りに移植しました。
- 4月18日（金）ボランティアグループ/チャレンジ80のメンバーの吉富まきこさん他6名が、見学に来られました。北村会員、田村会員の2名にて現地の案内、説明を行いました。
- 4月19日（土）本日の作業は、あいにくの雨でしたが、駐車場の整備（宇部興産株式会社提供のゼットサンドを砂利の代りに撒きました。）と蓮田の肥料をまきました。
- 4月19日（土）第一回目の自然観察隊が行われました、午後1時に受付を開始し1時半より説明、2時半より遊ロードに入り、鳥の巣箱や、植物の観察を行いました。終了後、希望者だけでビオトープ近くの原田賢治さんの竹林で竹の子を掘り、お土産に持って帰られました。

2. 今後の予定（事務局 記）

見学者

- 5月18日（日）宇部ファミリー・サポート・センター地域交流会 約60名 北村会員、原田会員、他2名
- 行事
- 5月4日（日）作業（草原、土手の草刈）
- 5月17日（土）作業（溝掃除、植栽）と里山自然観察隊

3. ビオトープ関連（里山自然観察隊の感想）（厚南小6年 中本 勝也 記）

ぼくは、土曜日の探検隊のとき、はじめて出たけどおもしろかったです。どんなところがおもしろかったかというと、特に巣箱をかける時です。竹の巣箱が重くてすべったけど、終わったときには、達成感がありました。あの巣箱に鳥が住んでほしいです。他にもたけのこをほってくださってありがとうございました。また、次のときもよろしくお願いします。たけのこは、おいしかったです。ぼくは、そのたけのこをお母さん達はみそするやてんぷらなどにしてもらいました。もう1本ほしいほどでした。それと、ありがとうございました。

4. ビオトープ関連（連載ビオトープ近辺の案内）

— “珍説フタマタセ その七、宮自慢（みやじまん）” （車地 吉富 壮介 記）

子どもが集まると話がはずむ。山の話、川の話、人のこと家のこと。話がはずむと決まって逆らう奴が現れる。甲と乙に分かれ、AはBの肩を持ち、CはDと相図（あいはか）る。果ては口ゲンカ、誰かが泣き出して終りになる。でも明日にはまた集まって、善（ええ）じゃ悪いじゃと騒ぎだす。古き善き時代…。そんな頃の話に“宮自慢”があった。車地と木田で…。「おれらのお宮は日吉神社」「うちの処も日吉神社」「まねをするな」「お前こそウソ言うな」「誰が日吉神社で言うたか」「うちの爺さまが…」「空説（ええころ）を言うな」「ほんとのこと」「おれらのお宮へ行って見い、大けな字で“日吉神社”で書きゃる」「お前漢字が読めるか」「バカ、それぐらい読める」「カナがつけちゃろうが」「叩くでよ！」「まあまあ…と止めが入る。一応静かになる、が長くは保（も）たない。「俺らのお宮が古い」こんどは古さが問題になる。古い程位（くらい）が高いという話「いや、古いそはうちのお宮」「境内の松はうちが大きな」「古い椎の木はうちが多い」「うちの椎の木にヤフクロウが巣うかけちよる」「お前方のお宮にヤコンクリーが使うちやる。古いお宮は石ばかり」。果ては石段が多い、灯籠の数でこい、祭りが七回ある、参り手が多い…。きりが無い。しまいには「バカ」「チン○」「ウン○」でケンカになる。トシも七十を越すと、あの頃がやたら恋しうなる。

ええころ・・・ いい寡言なこと

古いそは・・・ 「そは」の意味は、「のは」というの車地、二俣瀬地区の方言

5. 会員の声

今年3月から会に参加させていただいている美濃和信孝と申します。昨年3月、千葉県佐倉市から小野田市にやってきました。

佐倉では、6年前に『佐倉里山クラブ』というボランティアグループを立ち上げ、現在山林3ha、湿地1haの管理をしています。私がこっちへ来てからは、妻が私の後を引き継いで活動を行なっています。佐倉は昔から炭の産地で、薪炭林が多く、現在手入れをしている林は、地主さんの話によると、クヌギ、コナラ、サクラなどの木を10年から15年の周期で、何度も萌芽更新（切り株から芽を出させること）させ、100年も経った林だそうです。ところがこの林も、薪炭林として使われなくなったあとは放置され、ネザサが茂り放題の荒れた状態になっていました。刈り払い機を振るって笹を刈っていくと、林に明るい光が戻り、再生していくのが良くわかります。湿地の方は、千葉では谷津田（やつだ）と呼ばれる、台地の中の谷沿いに広がる休耕田です。こち

らも長いあいだ放置されていたため、セイタカアワダチソウやヨシが一面に生い茂る荒地になっていました。この場所にトンボやカエルのための浅い池を掘り、サワガニやホトケドジョウのための流れを整備して、湿地全体のビオトープ化をはかっています。

自然に対して実際に手を入れていると、ただ通り過ぎているだけでは見過ごしているものが見えることがあります。さまざまな草花は言うに及ばず、キノコ、昆虫、鳥など、手をかければかけるだけ、自然はそれに答えてくれます。二俣瀬もそうなのですが、私たちが住んでいるところからすぐ近くに、このような親しみ深い自然環境が広がっていることに、私たちは感謝しなければいけません。とかく最近の風潮としては、金銭に換算できないもの、効率の悪いものは切り捨てられがちですが、日常的に触れ合える自然がすぐ近くにあるという価値をもっと見直すべきだと思います。特に子供たちには、小川でメダカを取ったりカエルを捕まえたりする遊びを十分すぎるほどさせてあげたいと思います。全く自然と触れ合うことなしに育った子供が大人になったときにどのような社会になるのか、このごろ異常な犯罪が増えてきていることからわかるように、社会全体がおかしくなっていくのではないかと非常に危惧されます。子供たちには、自然体験を通じて、人間に限らず全ての生き物が生きることが、他の生き物の犠牲の上に成り立っていることをわかってもらいたいと思います。木やササは切られて命が絶たれたとしても、春にはたくさんの花々に、夏にはたくさんの虫たちに変わります。自らの自然への働きかけが、さらに多くの命を育み、多様な自然が出現していくのを体験する。このことは人も自然の中の一部であるという共感へと通じていくでしょう。

かつてはどこにでもいたメダカやトンボやカエルがレッドデータブックに載るほどに減少してしまいました。最近あちこちで盛んに行なわれているビオトープづくりは、このような身近な自然とのふれあいを、人々が渴望している現われとも見てとれます。遠くの大自然より身近なところにある自然にもっと目をむけて、作業に汗を流すことに喜びを見出す人達を増やしていきたいと思います。ただ楽しむだけとか、何々しなければならぬとかの考え方から脱して、楽しみながら環境も改善していく、そういうひとつの答えがここにはあると思っています。

抱負 「心のふるさととしての自然」 (美濃和 信孝 記)

6. 来訪者の声 (東屋のノートより一部抜粋)

3月31日 始めてきました、とっても素晴らしい里山ビオトープですね。ため池ゾーンではメダカと赤ガエルのおたまじゃくしの泳ぐのを眺めていました。とても楽しかった。今日はあまり時間が無くこれで帰らなくてはなりませんが、近い内、又再び来ようと思います。 春風がこちよい！ 田原

4月6日 今日は少し風があるけれど、とてもいい天気です。そろそろ冬を越したトンボが見れるかなと思い来ました。いました！ 止水池で枯れたガマの葉にちょこんとオツネトンボが1匹止まってじっとしていました。時々小さな虫を見つけると飛んで追っかけていました。体の色は葉っぱに似てコゲ茶色をしています。これからどんどんトンボが出て来てまたビオトープにもぎやかになります。他にモンシロチョウ、シジミ蝶、ガガンボ、めだか、おたまじゃくし、・・・などもたくさん見つけました。又鳥も鳴いています。ウグイスの声も聞こえます。 12:30 原

4月6日 山登り楽しかった。つくし見つけたよ。花も見つけたよ。川でメダカがいたよ。又来たいな！

よしもけいすけ

よしも君は将来いや今でも大詩人ですね！！ またきてね

7. 会よりの連絡事項

- 1 - 脱会者、入会者のご案内
特になし。

8. 編集後記

里山自然観察隊がスタートした。元気な子供たちが集まってきた。こうしたら、ああしたらと思いはたくさんあるが、子供たちは興味ある事は一生懸命するが、あとは聞きもしない。ビオトープの中では、自分の好きなことのみ没頭して、行事計画もあったものではない。これも仕方ない、いましばらく様子を見て、自然を楽しんで、興味の目が本来の観察に向いてくれるように見守りたい。男の子は昆虫、女の子は草花か、興味の対象も違う、これも仕方ない。こんなに楽しい遊び場(ビオトープ)も、私たちが一生懸命維持しているということが、少しでも分かってくれば、自然の大切さも分かって、彼らが大きくなったときには、今度は彼らが率先して行動してくれるだろう。これを期待したい。(西原 一誠 記)